

メールマガジン　第○号　令和○年○月○日発行

「うな丼」「うな重」は何が違う？

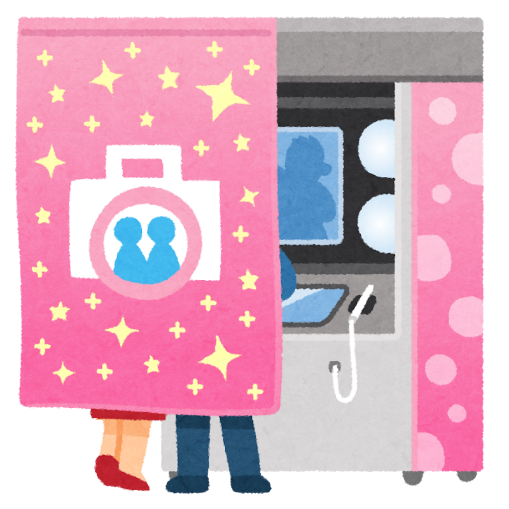


きょう7月21日は「土用の丑（うし）の日」です。うなぎ料理専門店に行くと、お品書きに「[うな丼](https://search.yahoo.co.jp/search?p=%E3%81%86%E3%81%AA%E4%B8%BC&ei=UTF-8&rkf=1&slfr=1&fr=link_direct_nws)」「[うな重](https://search.yahoo.co.jp/search?p=%E3%81%86%E3%81%AA%E9%87%8D&ei=UTF-8&rkf=1&slfr=1&fr=link_direct_nws)」の両方が書かれていることがありますが、ご飯の上にうなぎがのっている点は同じであるにもかかわらず、なぜか呼び方が違います。「うな丼」「うな重」は何が違うのでしょうか。器が「丼」か「お重」かの違いでしょうか。料理研究家で管理栄養士の関口絢子さんに聞きました。

「うな丼」起源は芝居小屋の食事？

Q.昔から、「うな丼」と「うな重」が存在したのでしょうか。それぞれ、どのようなきっかけから生まれたのですか。 関口さん「『うな丼』の由来は諸説あるようですが、江戸時代末期に刊行された随筆『[俗事百工起源](https://search.yahoo.co.jp/search?p=%E4%BF%97%E4%BA%8B%E7%99%BE%E5%B7%A5%E8%B5%B7%E6%BA%90&ei=UTF-8&rkf=1&slfr=1&fr=link_direct_nws)』によると、文化年中（1804～18年）の頃、堺町（現在の東京・人形町）の芝居小屋『中村座』のスポンサー、[大久保今助](https://search.yahoo.co.jp/search?p=%E5%A4%A7%E4%B9%85%E4%BF%9D%E4%BB%8A%E5%8A%A9&ei=UTF-8&rkf=1&slfr=1&fr=link_direct_nws)が、かば焼きが冷めないようにと、丼飯の間に挟んで芝居小屋に届けさせたものが始まりのようです。『俗事百工起源』には『うなぎ飯』の起源と書かれていますが、現代のうな丼に近い形だと思われます。 江戸時代にはすでに、うな丼は庶民の間で人気となり、陶器や磁器、漆器の丼を使って出されていたようです。明治時代に入り、それまで地焼き（焼くのみ）だったかば焼きから、焼く工程で蒸す方法が取り入れられ、かば焼きがやわらかくなったことで、ご飯の上にのせるスタイルが確立、その後、さらに見栄えよくお重に入れたものが登場し、人気になって『うな重』となったそうです。 お重が使われるようになった由来は、他にも説があります。うなぎ飯が冷めないように重箱を3段重ねにし、上下のお重にお湯を入れて、真ん中のお重に入れたうなぎ飯を保温したという説です。お重に入れたうなぎ飯は、その辺りからも、丼よりも高級なものとして認識されていったとみられます」

あのプリクラに「復権の兆し」



1990年代後半に女子高生の間で大ブームとなった「[プリクラ](https://search.yahoo.co.jp/search?p=%E3%83%97%E3%83%AA%E3%82%AF%E3%83%A9&ei=UTF-8&rkf=1&slfr=1&fr=link_direct_nws)」に、復権の兆しが見えてきている。プリントシール機「プリクラ」が誕生して25年となる今年、写真だけでなく3秒間の動画も撮影できる新機種が登場するのだ。 　 　最新プリクラ機「fiz（フィズ）」を投入するのは、ゲーム大手のセガ。長らくプリクラ市場から離れていたが、約20年ぶりの再参入だという。 「なめらかな3秒動画を最大6種類、撮ることができます。400円の料金で静止画像6枚と、3秒動画『[モーメント](https://search.yahoo.co.jp/search?p=%E3%83%A2%E3%83%BC%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%88&ei=UTF-8&rkf=1&slfr=1&fr=link_direct_nws)』を6種類撮影でき、従来にはない動画のなめらかさが特徴です」（同社広報担当者） 　画像データはスマホで受信するか、専用ウェブサイトからダウンロードできる。これをインスタグラムなどのSNSにアップするなどして、友人たちと簡単に共有することが可能だ。新型機は一部の地域で期間限定の先行投入を始め、今秋に本格展開するという。 　プリントシール機のプリント倶楽部、すなわちプリクラがゲームセンターに登場したのは1995年。女子高生は撮影した写真を「プリ帳」と呼ぶ小さなノートに貼り、友達と見せ合い、交換し合った。

ネット・ゲーム依存は心の病　自粛生活、悪化のきっかけに

新型[コロナ](https://search.yahoo.co.jp/search?p=%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A&ei=UTF-8&rkf=1&slfr=1&fr=link_direct_nws)ウイルス感染拡大防止のための小中学校、高校の休校は約３カ月に及んだ。外出も自粛が求められ、子どもたちがインターネットやオンラインゲームに接する時間は長くなり、「ネット・ゲーム依存」が増えることが懸念されている。どのような影響が出ているのだろうか。依存の背景にあるのは？　[神戸大学](https://search.yahoo.co.jp/search?p=%E7%A5%9E%E6%88%B8%E5%A4%A7%E5%AD%A6&ei=UTF-8&rkf=1&slfr=1&fr=link_direct_nws)病院（神戸市中央区）で、ネット・ゲームとギャンブル依存の専門外来を担当する精神科専門医、曽良（そら）一郎教授（６３）＝精神薬理学＝は「依存の人の多くが、満たされないものを持っている。生きづらさがあるのです」と語る。（網　麻子）

■編集後記■